

1. 件名：ALPS 処理水の測定対象核種の選定に関する検討状況に係る面談
2. 日時：令和4年6月23日（木）10時00分～12時00分
13時00分～14時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、岩永企画調査官、大辻室長補佐、小西係長、塩唐松係員、吉田技術参与、近藤技術参与、鈴木技術参与
澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、松田室長補佐、平山技術参与、林技術参与（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当7名（うち、テレビ会議システムによる出席1名）

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
担当2名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨
 - 東京電力ホールディングス株式会社から、ALPS 処理水の海洋放出時に測定する核種の選定に関して、前回面談（令和4年5月30日）における議論を踏まえた現在の検討状況について説明があった。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容を確認し、以下のとおりコメントを行った。
 - ALPS 処理水の測定対象核種選定のためのインベントリ評価においては、使用されている構成材料に微量含まれる不純物の放射化により生成される核種の存在量を考慮した上で検討すること。
 - 放射化生成物の評価にあたっては、事故時の構造材料の配置等も含めて、適切に計算上の取扱いがなされていることを確認すること。
6. その他
資料：ALPS 処理水の海洋放出時の測定・評価対象核種に係る検討状況